

ザイティガ®投与前チェックシート

チェック項目の詳細、モニタリングの頻度は、「ザイティガ®適正使用ガイド」
及び「ザイティガ®マネジメントブック -注意すべき鉱質/糖質コルチコイド関連副作用-」をご参照ください。

肝機能	Child-Pugh分類	<input type="checkbox"/> A	本剤の適正使用患者に該当します。
		<input type="checkbox"/> B	本剤を投与する場合には、患者様の状態を十分観察しながら、頻回の臨床検査を実施し、慎重に投与してください。
		<input type="checkbox"/> C	添付文書の【禁忌】に該当します。 本剤の投与は中止又は延期してください。また、適切な他の治療法を検討してください。
	ALT、AST値が $2.5 \times \text{ULN}$ 以上*である 又は 総ビリルビン値が $1.5 \times \text{ULN}$ 以上*である	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。
<input type="checkbox"/> はい		本剤を投与する場合には、患者様の状態を十分観察しながら、頻回の臨床検査を実施し、慎重に投与してください。	
血小板	血小板数が $10 \text{万}/\mu\text{L}$ 未満*である	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。 ※本剤投与前の値が $10 \text{万}/\mu\text{L}$ 以上でも重篤な血小板減少が認められることがあります。
		<input type="checkbox"/> はい	血小板減少の増悪に注意してモニタリングしてください。
電解質	血清カリウム値が 3.5mEq/L 未満*である	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。 ※本剤投与前の値が 3.5mEq/L 以上でも重篤な低カリウム血症が認められることがあります。
		<input type="checkbox"/> はい	本剤を投与する場合には、患者様の状態を十分観察しながら、頻回の臨床検査を実施し、慎重に投与してください。 また、本剤投与前に血清カリウム値の補正を検討してください。
耐糖能	随時血糖が 200mg/dL を超える 又はHbA1cが 7.0% を超える	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。
		<input type="checkbox"/> はい	糖尿病の可能性を考慮し、専門医へ相談してください。
一般所見	血圧が $140/90 \text{mmHg}$ 以上である	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。
		<input type="checkbox"/> はい	本剤を投与する場合には、患者様の状態を十分観察しながら、頻回の血圧測定を実施し、慎重に投与してください。
	体液貯留/浮腫がある	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。
		<input type="checkbox"/> はい	本剤投与後は、体重を定期的に測定し、 眼瞼・足首などのむくみに注意しながら、モニタリングしてください。
合併症	心血管疾患がある	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。
		<input type="checkbox"/> はい	本剤を投与する場合には、患者様の状態を十分観察しながら、頻回の臨床検査を実施し、慎重に投与してください。
	糖尿病がある	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤の適正使用患者に該当します。
		<input type="checkbox"/> はい	プレドニゾロンを併用するため、糖尿病の増悪をきたすことがあります。 糖尿病の主治医への連絡、又は患者様に対して糖尿病の主治医にプレドニゾロンの服用を開始したことを伝えるよう指導してください。
併用薬	利尿薬 ループ利尿薬 フロセミド トラセミド アゾセミド等 サイアザイド系利尿薬 トリクロルメチアジド等 浸透圧利尿薬 D-マンニトール、グリセオール®	<input type="checkbox"/> はい	左記の薬剤を併用している。 本剤の適正使用患者に該当します。
	その他 インスリン グリチルリチン含有薬 甘草含有漢方 グリチロン® 抗生物質 アムホテリシンB ポリミキシンB カルベニシリン ペニシリン等 抗パーキンソン病薬 下剤(長期服用時)	<input type="checkbox"/> はい	低カリウム血症を引き起こす可能性がある薬剤です。 血清カリウム値の頻回な測定を行い、 低カリウム血症に関連する症状を特に注意して観察してください。

* 国内臨床試験における患者選択基準です。あくまで目安として参考にしてください。

ULN: 施設基準値上限